

2025年1月19日(日)  
中国新聞SELECT掲載



私は2023年10月からパラオにJICA海外協力隊員として派遣され、ヨットコーチを務めている。美しい海に囲まれたこの南国で、ゼロからヨット競技の普及を図っている。パラオ



パラオ  
仙田悠人さん(25)  
松江市出身

の伝統と現代競技の融合に挑む活動だ。

太平洋諸島では千年以上前から星を頼りに航海し、新たな島を開拓してきた。その勇敢な航海のDNAを太平洋諸島の子どもたちは受け継いでいる。私はその遺伝子を引き出し、スポーツとしての現代のヨット競

## ヨットという共通言語

技の楽しさを伝えている。24年9月には、初の国内

ヨットレース「第1回パラオカップ」を企画した。準

ちみたくにヨットを教えた

だろう。



第1回パラオカップの閉会式後の集合写真

備期間中にはレースの海面の調整を巡り、行政との交渉が難航したが、仲間が同じビジョンを共有し、本気で協力してくれ

た。レースを成功させた意思が伝わった感覚があった。レース当日、子どもたちは練習の成果を存分に発揮した。

風にも恵まれ、保護者や地域の協力もあって成功を収めた。閉会式にはパラオ大統領や各国の大使も出席し、歴史に残るイベントとなった。生徒が「風をつかむ瞬間が楽しい!」「こ

うと心との距離を縮める。好きなことを共有したい気持ち。資格や学歴などは超える。資

格や学歴などは超える。資

格や学歴などは超える。資